

女性チャレンジ応援拠点だより 2022 2月

〇●〇 コラム【新旧ともに新春、立春！】〇●〇

2月1日は旧暦の元日でした。新旧ともに新年が明け、4日は二十四節気の「立春」、梅の花も見頃となり、いよいよ今年の春がやってきます。早春の陽ざしに意気もあがってきたのではないのでしょうか、首尾は上々ですか？

さて、オミクロン株の感染が急拡大しましたが、2022年の今年が「ポストコロナ元年」にあたるのは変わらないだろうと思います。昨年のうちに一気に広がった「セルフレジ」は一番身近な「新しい常態」の例かもしれませんが、3年後には、今の想像をはるかに超えた世の中、社会の構造になっているはずですよ。

構造的な変化の入り口、節目にあたる2022年、押し寄せる波にのまれず、「波にうまく乗る」というよりも、「自分の波をうまく重ねる」といった具合に、世の中がどう変わっても変わらない価値、自分ならではの価値をうみだしていくことが、どうあれ、一番の正攻法でしょう。

そこで2022年2月の『チャレンジする人のニューノーマル』は、
「2025年の自分に誇る2022年からの三ヶ年」です。

まずエピソードを二つご紹介しましょう。一つは、長年地域の助け合い活動が続ける方のお話です。代表をつとめる団体が、3年後の2025年に法人化20周年を迎えます。法人化の前から活動を続け、地域の人たちによるこんでもらってきたという自信と誇りがメンバーにあります。そこで、自分たちの活動史をつくろうと思いついたのです。一冊の本または冊子にまとめ、20周年記念シンポジウムを企画して、その場で発表する、そんなアイデアです。3年あれば何とか完成させられる、そう考え、1月年始の例会で発案、みなさんの賛同を得たのでした。「3年あれば、社会の変化の中でわたしたちが果たしてきた役割と未来へのメッセージもまとめられると思います。年度内にプロジェクトを立ちあげ、しっかりスケジュールリングして、新年度から、がんばります！」、キラッとした表情でそう宣言されたのが印象的でした。

もう一つも先月1月のことです。「拠点」へ来られた常連利用者の方のお話です。ご本人から次のような言葉がでました。「今回のことで、本当に自分のやりたいこと、やるべきことが定まりました」。「今回のこと」というのは、年始早々にある企業から一年半ぶりに2度目の仕事の打診が舞い込んだのですが、条件などを確認するうちに、何かちがう、本当に自分はこれをやるべきか、やりたいか？と自問することになったのです。最終的に出した答は、先方の要望とは少し違う別な提案をし直し、もし先方がダメというなら、仕方ないと思える、そういうものでした。そして、「今年は開業して3年目、過去2年いろいろとアプローチしてきましたけど、やっぱりわたしにはこれだ！というものがはっきりしました」。清々しい表情でそう言われました。迷いがとれた、自分の道がみえた、そうなる強いものです。「次の3年後には…」と思い描く近未来像があるようで、何とも頼もしい限りです。

さあ、みなさん、新しい春がきます、みなさんの春です。2025年の変化に動じず、軽やかに活動している状況をつくっていきましょう。未来の自分に誇れる自分の歩みを今年も始めていきましょう。「女性チャレンジ応援拠点」はいつもみなさんの後に控えています。どうぞ気軽にご利用ください。スタッフ一同、お待ちしております。



女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

※開室日 ※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

